

源義経（1955）

メディア 映画

ジャンル

製作国 日本

色彩 B&W

時間 94分

初公開日 1955/07/30

【解説】

村上元三の同名小説を「虚無僧系図」の八尋不二が脚色し「あばれ纏千両肌」の萩原遼が監督した。中村錦之助が源義経、月形龍之介が武蔵坊弁慶を演じ、錦之助の実父である中村時蔵が映画初出演を果たした。

承安四年、牛若丸は鞍馬山蓮忍に預けられていた。母の常盤は子供三人の命を救い守るため、憎むべき平家に身を下し、一条大蔵卿の妻となって京にいる。牛若丸に想いを寄せるうつぼの兄である三郎は、もともとは源氏の一族だったが今では平家の手先となっていた。三郎は与八昌當たちと牛若丸を襲うが、逆に撃退されてしまう。ある日、武蔵坊弁慶ら山法師らと平教経の一党との騒ぎに巻き込まれ、うつぼが教経の鞭に打たれて倒れた。思わず教経を打ち据えた義経は、平清盛の逆鱗に触れてしまい…。

【クレジット】

監督 萩原遼

製作 大川博

企画 マキノ光雄

藤本真澄

大森康正

原作 村上元三

脚本 八尋不二

撮影 吉田貞次

美術 塚本隆治

音楽 小杉太一郎

出演 中村錦之助

中原ひとみ

月丘千秋

山田五十鈴

月形龍之介

中村時蔵

小沢栄

竜崎一郎

三島雅夫